

2021 年度 後期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム科目 シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級 I 会話	月 3	松本	... 1
中級 I 作文	水 1	小谷	... 2
中級 I 読解	木 3・木 4	未定	... 3
中級 I 聴解	水 3	酒井	... 4
中級 I 漢字	木 2	渡邊	... 5
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 6

2021年度 後期	曜日・校時	月曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級 I 会話			
担当教員名	松本久美子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	かいわ あいて はなし 会話の相手の話をよく聞いて、それに対して適切な返事をしながら会話ができるようになる。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
<ul style="list-style-type: none"> 教科書のユニットの目標を理解する。→教科書の会話の練習をする。→ペアで会話を作る。→作った会話を発表する。 会話テストが2回あります。また、会話を作る宿題があります。 				
第1週	10/4	オリエンテーション・自己紹介(じこしょうかい)		
第2週	10/11	Part 1 Unit 1		
第3週	10/18	Part 1 Unit 2		
第4週	10/25	Part 1 Unit 3		
第5週	11/1	Part 1 Unit 4		
第6週	11/8	Part 1 Unit 5 (テストのペアを決める)		
第7週	11/15	Part 2 Unit 6		
第8週	11/22	テスト①		
第9週	11/29	Part 2 Unit 7		
第10週	12/6	Part 2 Unit 8,9		
第11週	12/13	Part 3 Unit 10		
第12週	12/20	Part 3 Unit 11		
第13週	1/17	Part 3 Unit 12		
第14週	1/24	Part 3 Unit 13		
第15週	1/31	テスト②		
教科書・教材等	『にほんご会話上手!』岩田夏穂、初鹿野阿れ著、アスク出版			
成績評価の方法・基準等	テスト① 30%、テスト② 30%、授業への参加度(出席・授業態度) 20%、宿題 20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

2021年度 後期	曜日・校時	水曜日・1校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級 I 作文			
担当教員名	小谷裕子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	書き言葉で自分の意見を明確に表現できるようになること			
<p>授業概要／毎週毎の授業内容を含む</p> <p>・トピックの関連語句、文章表現の練習 ・関連質問を中心とした口頭練習→書く前の準備（作文は課題）</p>				
第1週	9/29	オリエンテーション 原稿用紙の使い方確認		
第2週	10/6	「自己紹介」		
第3週	10/13	「私の一週間」		
第4週	10/20	「日記」		
第5週	10/27	「高校生活」		
第6週	11/10	第1回 試験		
第7週	11/17	「日本での食生活」		
第8週	11/24	「日本に来て驚いたこと」		
第9週	12/1	「日本での旅行」		
第10週	12/8	「もし1000万円あたらたら」		
第11週	12/15	第2回 試験		
第12週	1/5	「私の国」		
第13週	1/12	「私の国の教育」		
第14週	1/19	「結婚式」		
第15週	1/26	「将来の計画」		
第16週	2/2	第3回 試験		
教科書・教材等	『日本語作文 I』 専門教育出版			
成績評価の方法・基準等	<p>授業への参加度&態度 10%、課題 30%、試験 3回 各20%</p> <p>注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。</p>			
アクセシビリティ	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p><u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u></p> <p>(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>			
備考(準備学習等)	<p>私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。</p>			

2021年度 後期	曜日・校時	木曜日・3校時、4校時	コマ数	2コマ
授業科目	中級 I 読解			
担当教員名	未定	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	450字～600字程度の長さの文章が読めるようになる。本文中の語彙や文型を理解し、自分で使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

***変更の可能性あり**

『中級を学ぼう 中級前期 第2版』を使って授業を進めます。3～4コマで1課を終わるくらいのペースで進めていきます。毎回、課題があります。また、3課が終わるごとに理解度を確認するための復習テストを行います。復習テストは3回あります。

第1週	9/30	オリエンテーション／第1課
第2週	10/7	第1課
第3週	10/14	第1課／第2課
第4週	10/21	第2課
第5週	10/28	第3課
第6週	11/4	第3課
第7週	11/11	第4課／復習テスト①
第8週	11/18	第4課
第9週	11/25	第5課
第10週	12/2	第5課
第11週	12/9	第6課
第12週	12/16	第6課
第13週	1/6	第7課／復習テスト②
第14週	1/13	第7課
第15週	1/27	第8課
第16週	2/3	第8課／復習テスト③

教科書・教材等	平井悦子・三輪さち子著『中級を学ぼう 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	毎回の課題 30%、復習テスト①(第1課～第3課) 15%、復習テスト②(第4課～第6課) 15%、復習テスト③(第7課～第8課) 25%、授業への参加度 15% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行、家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 後期	曜日・校時	水曜日・3校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級 I 聴解			
担当教員名	酒井亮子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	学習者自ら聞き取りの「ストラテジー」を発見し身につけることができる。音声教材を通し研究の基礎となる語彙や表現を習得し総合的な日本語力を高めると共に、現代日本への理解を深める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様々な分野の日本のニュース等を聞くことにより学習や研究の基礎となる語彙や表現を習得し、日常会話より一歩進んだ総合的な日本語力を高める。毎時、簡単なクイズおよび復習のための課題提出が求められる。

第1週	9/29	オリエンテーション (1)風呂敷
第2週	10/6	(2)目の錯覚 (3)出前はどんなとき何を?
第3週	10/13	(4)小さなお金の大きな働き (5)ライオンですか、犬ですか?
第4週	10/20	(6)世界で一番早く朝が来る国 (7)子どもの耳
第5週	10/27	(8)日本人の名字 (9)100円ショップ
第6週	11/10	(10)便利?不便?電子メール (11)じゃんけん
第7週	11/17	(12)あいさつの思わぬ効果
第8週	11/24	中間試験 (13)空からの贈り物
第9週	12/1	(14)チンパンジーのアイちゃん
第10週	12/8	(15)だるまさんがころんだ
第11週	12/15	(16)暖かい色、冷たい色
第12週	1/5	(17)どんなストレスに弱い?
第13週	1/12	(18)こちら110番、事件ですか、事故ですか?
第14週	1/19	(19)「少子化」という言葉
第15週	1/26	(20)動物占い / 総まとめ
第16週	2/2	期末試験

教科書・教材等	「毎日の聞き取り plus40 ㊤」凡人社、その他音声教材
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 20% 課題提出 20% 小テスト 20% 中間試験 20% 期末試験 20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 後期	曜日・校時	木曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅰ漢字			
担当教員名	渡邊佐智子	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	中級レベル(日本語能力試験 N3~N2レベル)の漢字を中心に、学習者が生活の中で必要な漢字、覚えておくと便利な漢字が“使える”ようになるための基礎力を身につける。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
<ul style="list-style-type: none"> ・PARTⅠからPART4では、漢字のどんなところに注目すれば新しい漢字や言葉を覚えやすくなるのかを、練習問題を通してわかるようになる。 ・PART5は、実践トレーニングで、身近なものから情報を得る練習をする。 ・毎回、課題(assignment)を出す。 				
第1週	9/30	PART0		
第2週	10/7	PARTⅠ StepⅠ		
第3週	10/14	PARTⅠ Step2		
第4週	10/21	PART2 StepⅠ		
第5週	10/28	PART2 StepⅠ/Step2		
第6週	11/4	復習		
第7週	11/11	中間試験(PARTⅠ~PART2)		
第8週	11/18	PART3 StepⅠ		
第9週	11/25	PART3 Steo2		
第10週	12/2	PART3 Step3		
第11週	12/9	PART4 StepⅠ/Step2		
第12週	12/16	PART4 Step2		
第13週	1/6	PART5 StepⅠ		
第14週	1/13	PART5 Step2		
第15週	1/27	復習		
第16週	2/3	期末試験(PART3~PART5)		
教科書・教材等	『初級が終わったら始めよう にほんご漢字トレーニング』(アスク出版)			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度(出席・授業態度)20%、課題提出30%、定期試験50% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 <u>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</u> (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考(準備学習等)	私的な理由(ex. 旅行, 家族訪問 etc.)によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由(ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係:乗船実習, 研究発表 etc.)により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ言語 共通枠) のレベル
初級 I	初級 前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級 II	初級 後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができて、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級 I	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的话题について、簡単な会話ができて、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級 II	中級 後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的话题について、会話ができて、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級 I	上級 前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級 II	上級 後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級 I (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級 II (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 I 総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 II 総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級 II 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成, 2018/01/26 更新)